

# ちょっとめずらしい クラブを紹介しま〜す!

各校、様々なクラブがありますが、今回は、ちょっとめずらしくて、地域と関わりながら頑張っているクラブにスポットをあててみました。

## 日本文化クラブ

竹谷小学校

これまであった茶道クラブを含めて、一昨年から日本の様々な文化を取り入れたクラブを作りたいというみんなの思いから「日本文化クラブ」が立ち上がったそうです。

竹谷小学校には、畳敷きの和室があり本格的な作法などを学べるのが自慢のひとつです。

茶道をはじめ、生け花、着付け、俳句、百人一首などの古き良き日本の風習、文化にふれながら活動しています。

これからも地域みんなと一緒に、この和室を利用して、日本の文化にふれあう機会が少しでも多くなればいいとおっしゃっていました。



## 浄瑠璃クラブ

下原部小学校

「近松」に親しむことを通して「郷土を知り、郷土愛を育成する」ことに取り組み20年以上になります。

4・5・6年生23人が、地域で日舞を教えていらっしゃる方にボランティアで来て頂いています。10月末の「大近松祭」や「近松デー」で「寿式三番叟」を踊り、地域の方に喜んでいただいているそうです。演じている6年生は、「衣装を着たときうれしかった」「舞台上では緊張するけど踊るのが楽しい」と目をキラキラさせながら話してくれました。



## ボランティアクラブ

県立尼崎西高等学校

生徒会が中心になり、「地域の中で役に立ちたい」と自然にボランティアクラブができました。

その内容ごとに集まるメンバーは違いますが、今では、地域の方からも褒められたり、頼られたりする存在になり、活動のメンバーも多くなっています。

この活動が評価され、今年9月に尼崎市より、尼崎市社会福祉功労者表彰式において、ボランティア部門の団体表彰を受けられました。

生徒の皆さんは、「地域の人と関わって良かった」「お年寄りの方が喜んでくれた」「自分が働いて、助かる人がいたらいいなという思いで活動しています」と爽やかに話してくれました。

最後に、「自分たちのクラブも頑張っていますが、他の部活も頑張っていますので応援してください」と仲間を思いやっていました。



## 囲碁・将棋クラブ

立花西小学校

部員は16人ですが、とっても賑やかでみんな元気がいっぱい、明るくのびのびと楽しんで、囲碁や将棋をしていました。

ルールは簡単ですが、陣地を固めたり攻め方を考えるのは難しく、たとえ優勢でも油断すると負けてしまうそうです。

好きな棋士は、羽生名人という子どもが多く、また将来の夢は「棋士」という児童もいます。

3学期には部内でトーナメント戦が予定されているそうです。

立西名人めざして、がんばれ!!



## 舞踊クラブ

尼崎朝鮮初中級学校

4年生以上で部員は15人。兵庫朝鮮文芸同から講師を招いて本格的に練習しています。

練習は厳しいけれど、みんな踊るのが大好き。普段から姿勢には気をつけているそうです。大会への参加や校内の学芸会だけでなく、地域の行事等にも参加しています。

たくさんの方の日本の方に観て楽しんでいただけるのは、嬉しいと話されていました。

美しい民族衣装と、柔らかい身のこなし、そして何よりも笑顔とやさしいのが魅力でした。



## 田能遺跡クラブ

豊和北小学校

田能遺跡クラブは平成19年度に設立され、部員は現在20人。校区内にある貴重な文化遺産である田能遺跡に関連した活動を行っています。

勾玉・管玉などの古代のアクセサリー作りや、火起こしなどの体験をしています。

また実際に田能遺跡へ見学に行き、田能資料館学芸員の方に解説していただくこともあります。

勾玉作りはとても楽しく、古代の人たちの知恵を知ることが出来、とても勉強になると話していました。



## 百人一首クラブ

武庫北小学校

毎年子ども達の希望が多く、長年続いているクラブの一つです。

部員は20人、活動は月1回、初めに上の句、下の句を覚えるのに1ヵ月、その後、五色カルタで、子ども達が覚えやすいように勝ち負けなどをしながら力を競い合っています。

カルタを並べて読み手の声に耳を澄ましている様子は、真剣そのものでした。

おうちで家族と対戦する子どももいるそうです。さて、名人の座は誰の手へ?



## アンサンブル部

百合学院中学校  
高等学校

アンサンブル部は、ハンドベルと弦楽合奏に取り組み、部員は中・高校併せて40人、楽器が初めての人でも、頑張るとちゃんと演奏できるようになり、退部者は、ほとんどいないそうです。

本番前の練習は少し厳しくなりますが、中高一緒に活動しているので、学年を超えて友人や先輩ができて、一体感が生まれ、かけがえのない思い出になると、ハンドベルは、1人1音の担当で誰かが休むと演奏できないことで、頑張ろうという気持ちになるそうです。

年に一度の「関西ハンドベルフェスティバル」に参加したり、病院や地域でも演奏しています。

地域の方からも、お行儀の良さには、定評があると聞いていましたが、取材にお邪魔したときにも、学校に入ると優しい雰囲気と生徒さんの爽やかな挨拶にホッとしました。

これからも、ハンドベルと爽やかな挨拶で地域を明るくしてくださいね。



取材に伺った学校の先生方、児童・生徒のみなさん、ご協力ありがとうございました。頑張っている、みなさんの目がキラキラ輝いてとても素敵でした。  
澤田・田中